

未来を切り拓く J A Y C E E 育成会議

基本方針

議長 吉原 巧

1 近年、J Cの会員減少が進む中で、会員拡大は行われているものの全国を見ても平均在
2 籍4年半と会員の在籍年数は短期化し、それに加え例会や事業などの出席率低下は組織の
3 弱体化へと繋がり、継続的な運動の展開も困難になりかねません。この現状において鳥栖
4 J Cでは、新たな活力を吹き込み会員各々が修練に臨む覚悟を備え、自己成長こそが地域
5 の発展に繋がることを自覚し、誇りを胸に未来を切り拓く J A Y C E Eの育成が必要です。
6 まずは、新入会員を即戦力となる人財へと育成するために、短期間で基礎知識を習得さ
7 せ、J C運動や活動に参画する気概を高めます。そして、新入会員が組織の中核を担う存
8 在となるために、研修終了後は各委員会へと配属させ実際にJ Cを体験するとともに組織
9 全体でフォローアップを行うことで、組織の一員としての自覚と会員同士の絆を深めます。
10 さらに、地域変革に向け積極的に行動できる組織となるために、J Cとして守るべき行動
11 規範を遵守する姿勢を育成し、目的に対し果敢に挑む意識を醸成します。また、会員各々
12 が積極的に地域で独自の考えのもと能力を発揮するために、例会事業では自身に意識変革
13 をもたらすための機会を提供し、積極果敢に挑戦するリーダーとしての資質を高めます。
14 そして、J Cの魅力を伝播する人財となるために、理事役員へ各種セミナーを開催し委員
15 会を通じ会員へ落とし込む事で、活発な委員会運営の構築を目指します。さらに、次代を
16 担う人財の発掘と即戦力となる人財を育成する仕組みを確立するために、拡大会議を次年
17 度と取り組みP D C Aを活用した会員拡大を行い、永続的な拡大サイクルを構築します。
18 誇りを胸に変革への挑戦者として、会員が新たな仲間とともに意識を高め合い、独自の
19 考えのもと能動的に行動できる J A Y C E Eとなり、未来を見据えた運動を積極果敢に展
20 開し、市民運動の先頭に立ち魅力を伝播し続け、次世代に誇れる地域の創造を実現します。

21

22 <職務分掌>

- 23 1. 会員拡大会議の運営及び会員拡大の実施
- 24 2. アカデミー研修の実施
- 25 3. J A Y C E Eとしての資質向上につながる例会事業の実施
- 26 4. とす弥生まつり、まつり鳥栖への参加・協力